

四日市コンビナートの維持・発展に向けた懇談会 議事概要

- 1 日時：令和8年1月21日 13:30～15:20
- 2 場所：三重テラス2階 コミュニティスペース
- 3 出席者：別紙のとおり
- 4 冒頭挨拶
 - 本日は、令和7年8月及び10月に締結した「四日市コンビナートの維持・発展に向けた連携・協力に関する協定」に基づき本懇談会を開催。
 - 基礎化学品等で国際競争が激化しており、国内情勢も厳しい状況。
 - 四日市コンビナートは、最初の企業が進出してから約90年が経過。その間、カーボンニュートラル化や国際情勢の変化等に対応してきたことで、今の四日市コンビナートがある。
 - 今後も四日市コンビナートが維持・発展できるよう、様々な意見交換をさせていただきたい。
- 5 主な発言内容（意見交換）
 - 四日市コンビナートが操業してから50年以上経過しており、設備の老朽化が進んでいる。既存インフラや設備の保全・更新が重要。
 - コンビナートのプラントメンテナンス等には専門的な作業が必要になるが、人材の確保が難しくなっている。人口減少や現場作業が好まれない時代ではあるが、将来的な人材の確保・育成に向けて、工業高校の維持や大学構想等を進めて欲しい。四日市コンビナートと教育機関が連携して実証フィールドとしていく取組みがあってもいいのではないか。
 - 先進的なコンビナートとして発展するためには、水素・アンモニア等の脱炭素エネルギーの導入が必要。一方で、現状ではコストが高いため、技術革新や政策動向等を踏まえ、できるところから進めていくべき。また、脱炭素化によるコストアップや環境価値について社会で受け入れてもらうことも必要。
 - コンビナートは各社で補完しながら強みを作っていくことが必要。行政も一体となって、業種の垣根を越えて議論していくことが重要。
 - 四日市コンビナートを取り巻く環境が変化している中、今の状態を維持することは難しい。遊休地の活用や規制緩和等を進め、新たな産業を呼び込むことが必要。

以上

(別紙)

四日市コンビナートの維持・発展に向けた懇談会
出席者

日時：令和8年1月21日 13:30~15:00

場所：三重テラス2階 コミュニティスペース

(協定締結事業者) ※代理

- 味の素株式会社 執行理事 橘高幸志
- 石原産業株式会社 環境安全品質統括部長 澁谷良治※ (Web)
- 出光興産株式会社 執行役員CNX戦略部長 田中洋志
- 岩谷瓦斯株式会社 常務取締役生産本部長 岩下博信 (Web)
- 株式会社ENEOSマテリアル 執行役員生産本部長 中山哲
- KHネオケム株式会社 専務執行役員CTO 松岡俊博
- コスモ石油株式会社 取締役執行役員 大西永仁
- 昭和四日市石油株式会社 取締役執行役員製油所長 森庄次
- JSR株式会社 生産技術部長 熊井現二※
- 株式会社JERA ソリューション営業部長 福田將吾※
- 第一工業製薬株式会社 上席執行役員生産本部長 清水幸治
- 東ソー株式会社 取締役常務執行役員 吉水昭広
- 東邦ガス株式会社 四日市工場長 佐藤剛彦※
- 日本エア・リキード合同会社 ラジエングス・水素エネルギー事業本部長 中筋健介
- 三菱ガス化学株式会社 四日市工場 環境保安室長 阿部久人※ (Web)
- 三菱ケミカル株式会社 取締役チーフサプライチェーンオフィサー 櫻井和光
- 三菱商事株式会社 石油ソリューション本部 リファイナリー事業部長 太知秀樹※

(事務局)

四日市市 商工農水部長 渡辺久晃

商工農水部 理事 京藤雄太

三重県 雇用経済部長 松下功一

雇用経済部新産業振興課 課長 江藤浩太

(オブザーバー)

四日市港管理組合 (Web)

中部経済産業局 カーボンニュートラル推進室